

平成16年度 幹事会活動報告

次世代高度ネットワーク推進会議
幹事会 代表幹事
青山 友紀

1. 幹事会体制

幹事会は、「次世代高度ネットワーク推進会議」の円滑な運営を図ることを目的として、同会議により下部組織として設立されたものである。具体的には以下の活動を実施した。

- (1) JGN の運営方針の検討
- (2) JGN 以外の国内外のネットワークとの相互接続に関する検討
- (3) JGN を利用した国内外の研究開発に関する具体的な推進方策の検討
- (4) シンポジウム等JGN の広報に関する検討
- (5) その他推進会議の円滑な運営に係る事項の検討

代表幹事

青山 友紀	東京大学 教授
-------	---------

構成員

相原 玲二	広島大学 教授
池田 佳和	東京工業大学 特任教授
江崎 浩	東京大学 助教授
岡野 直樹	総務省情報通信政策局宇宙通信調査室 室長
後藤 滋樹	早稲田大学 教授
島村 和典	高知工科大学 教授
武井 俊幸	総務省情報通信政策局技術政策課 課長
安廣 徹	NTTコミュニケーションズ株式会社ソリューション事業部 e-Japan推進部システム部門ネットワークグループ 担当部長

オブザーバー

曽根 秀昭	東北大学 教授
-------	---------

副代表幹事

下條 真司	大阪大学 教授
-------	---------

浅見 徹	株式会社KDDI研究所 代表取締役所長
市川 晴久	NTT未来ねっと研究所 所長
尾家 祐二	九州工業大学 教授
古賀 達蔵	つくばJGN リサーチセンター センター長
小林 和真	倉敷芸術科学大学 教授
白鳥 則郎	東北大学 教授
西村 俊之	株式会社三菱総合研究所情報環境研究本部情報技術 研究部 部長

福本 昌弘	高知工科大学 助教授
-------	------------

2. 幹事会の主な活動状況

幹事会は平成16年度内に計5回開催された(下記)
 幹事会においては、主な議題の他、JGN の運用状況及び関連活動状況について事務局より報告を受け、必要な対策を講じている

主な決定事項:

- ・ JGN の運用方針(日米回線、光テストベッドを含む)
- ・ JGN と他のネットワークとの相互接続方針
- ・ JGN シンポジウム開催要綱
- ・ 国際共同研究体制

	日時	開催地	主な議題	
第1回	平成16年 6月21日	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光テストベッドの運用方針について ・ 日米回線の運用方針について ・ 他のネットワークとの相互接続の運用方針について ・ JGN シンポジウムの開催について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究推進部会の進め方について ・ 利用促進部会の進め方について ・ 日米回線を用いた研究開発について
第2回	平成16年 8月31日	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ JGN ネットワーク構成の変更について ・ OXC接続サービスの運用方針 ・ JGN シンポジウムについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JGN アクセスポイントの接続形態について ・ 国際共同研究体制について
第3回	平成16年11月19日	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の取組み状況について ・ JGN シンポジウムについて ・ 利用促進部会の活動状況について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究推進部会の活動状況について ・ 会合等の開催スケジュールについて
第4回	平成17年 1月18日	大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の取組み状況について ・ 日米回線について ・ 今後の会合等の開催スケジュールについて 	
第5回	平成17年 3月17日	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の活動状況と来年度の方針について ・ 推進会議報告事項について 	

3. 今後の活動方針

- 幹事会の今後の活動方針は、従来の方針に加え、3部会と共同で次の点について、重点的な活動を行う
- ・地域間及び利用者間の情報交換の場の設定、利用ノウハウに関わる情報提供、さらに地域の実態把握と支援を図る
 - ・トラフィックモニタリングや接続性検証等JGN以来重視しているテーマについて、さらに研究内容を深め、ミドルウェアからアプリケーションに及ぶ幅広い分野における研究者の参画を図る
 - ・国際共同研究の推進及び国際回線の環境整備を図る

幹事会開催予定:

平成17年5月、7月、9月、11月

平成18年1月(地方開催)、3月

活動	平成17年 4～6月	7～9月	10～12月	平成18年 1～3月
委員会会合等 推進会議 幹事会 利用促進部会 研究推進部会 ワークショップ 国際共同研究推進部会 シンポジウム		～2ヶ月に1回程度WGを開催～		(地方開催)

JGN の基本的運用方針の決定

基本的な運営方針及びAUPはJGNを踏襲
ネットワークの提供条件

- ・研究開発ネットワークの品質は保証しない
- ・ネットワークの運営上必要な情報を収集する場合がある

禁止事項

- 共同研究契約を締結しないで利用する行為
- 利用者が行う研究と無関係に利用する行為
- 直接に営利を目的として利用する行為
- 利用者以外の者に利用させる行為
- ネットワークの運営を妨害する行為
- 法令や公序良俗に反する行為
- その他、NICT(JGN の管理者)が不相当と認める行為

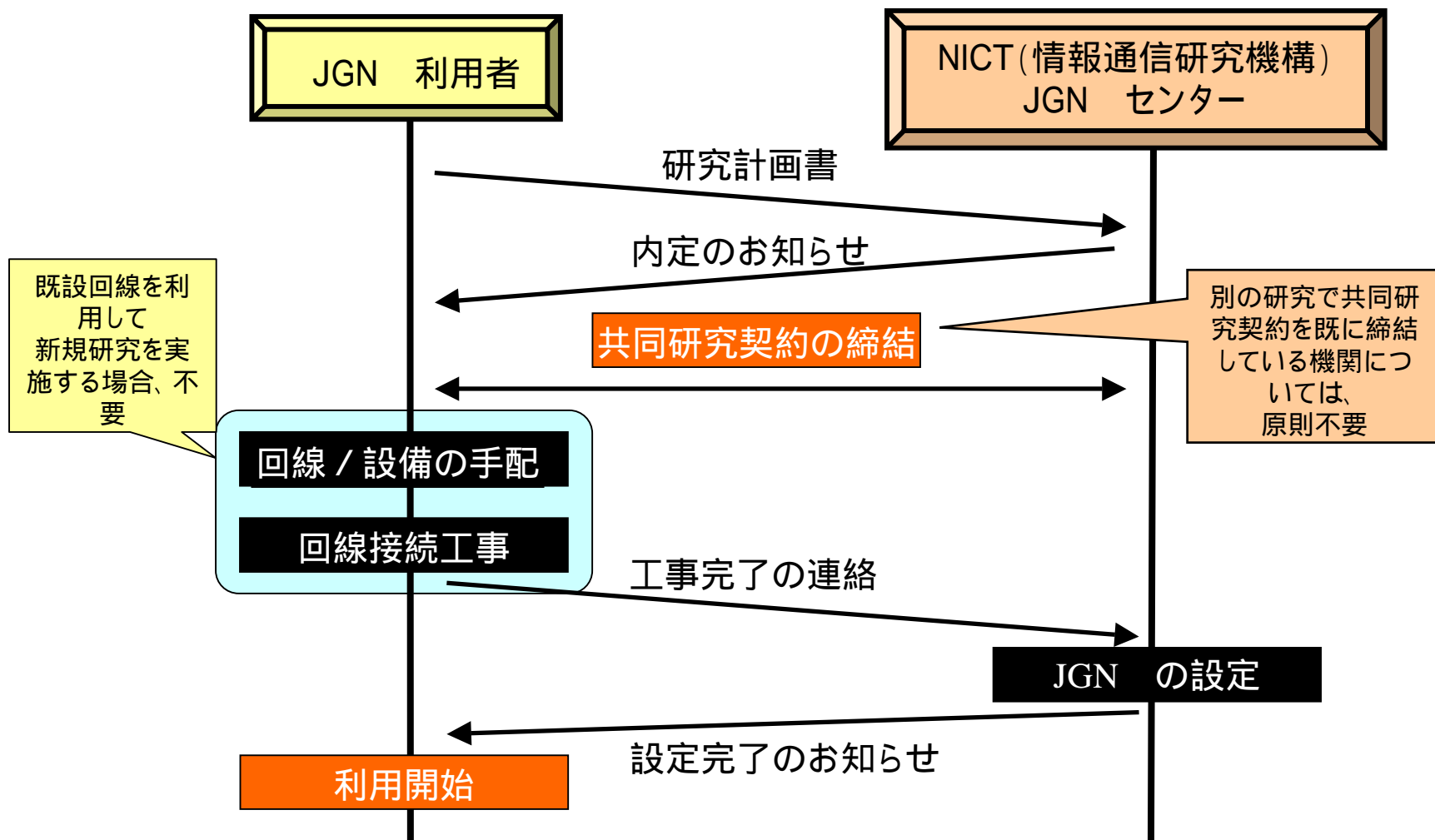
その他、JGN に関して以下の運用方針を決定

- 1 光テストベッドの運用方針
 - (1)安全基準
 - (2)ネットワークの技術的仕様の公開
- 2 日米回線の運用方針
- 3 他のネットワークとの相互接続の運用方針
- 4 OXC接続サービスの運用方針

JGN 運営方針の検討(2)

参考

JGN の利用手続きに関する検討



JGN への接続形態の多様化を推進

参考

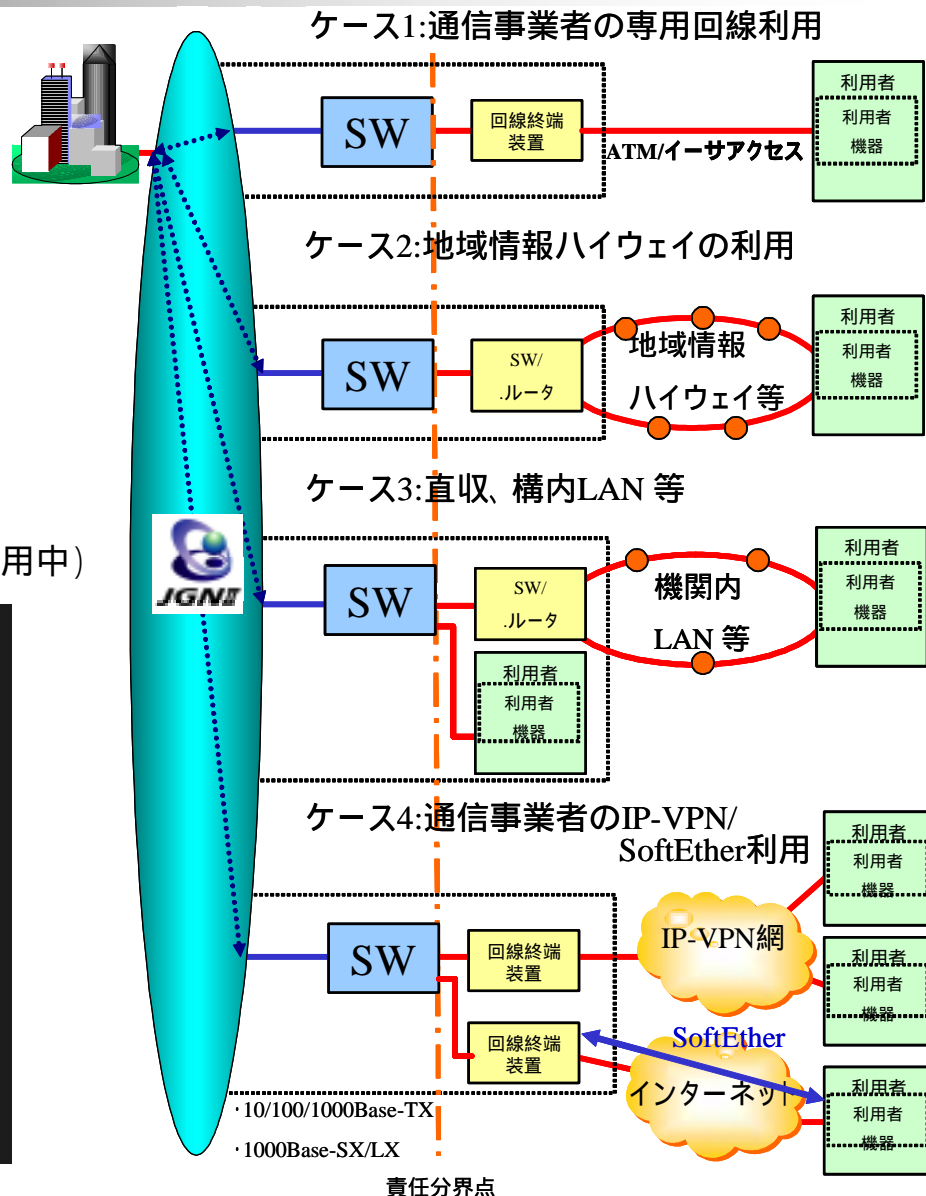


JGNにおいて課題とされていた足回り回線の確保について、接続形態を多様化することにより、ユーザにより利用しやすい環境を提供
 特に、県などの地方自治体が整備する地域情報ハイウェイとの相互接続を積極的に推進することで、地方の利用者の積極的な発掘に努めている

地域情報ネットワーク等との接続状況 (平成17年3月現在利用中)

接続済み

- ・つくばWAN
- ・福井情報スーパーハイウェイ (FISH)
- ・岐阜情報スーパーハイウェイ
- ・京都デジタル疎水ネットワーク
- ・びわ湖情報ハイウェイ
- ・兵庫情報ハイウェイ
- ・岡山情報ハイウェイ
- ・鳥取情報ハイウェイ
- ・高知県新情報ハイウェイ
- ・佐賀県高度情報通信基幹網
- ・宮崎情報ハイウェイ21 (MJH21)
- ・北九州e-PORT構想



*上記以外のその他の接続については、利用者と個別に調整

JGN の国際共同研究推進、国際的知名度向上を目的として、国際学会等との連携/協力を強化

- ・ 学会、シンポジウム等の共催・協力 (*GLIF*, *iGrid2005*, *iPOINT*, *SAINT*, *SC2004*,)
- ・ 論文投稿
- ・ 相互接続、MoUの締結 (*APAN*, *IEEAF*, *Internet2*, *NLR*, *StarLight*)

斜体は検討中のもの

国際回線を用いた研究開発・実証実験の推進

